



これさえ読めば、通信なんか簡単だ!!

パソコン通信 Q & A

あっという間に広がったパソコン通信は、やってみれば便利でとっても楽しい。パソコンネットは、年齢、職業、性別その他を越えて、いろいろな人とコミュニケーションできるシステムなのだ。

けれども、急激に広まったこともあって、初めての人にはとつきにくい部分があることも確か。そこで、Mマガ10月号の特別付録として、パソコン通信に関するいろいろな質問にお答えした。

わからない部分をクリアしたら、さっそくネットにアクセスしよう!!

■ MSXマガジン10月号別冊付録 ■

パソコン通信って何だろう？

◆ パソコン通信というのは、ホントに最近になって急に脚光を浴びたので、とっかかりがないと何がなんだかわからないかもしれない。そこで、最初はパソコン通信全般に関する質問を取り上げよう。

◆ パソコン通信は、パソコンを使って人間が情報収集や他の人とコミュニケーションする手段なのだ。

問

パソコン通信ってどんなことなんですか。いったい何ができるんでしょうか？ 銀行のオンラインみたいなものですか？

答

パソコン通信は、銀行のオンラインと似ていますが、銀行のオンラインのような業務的で無味乾燥なものではありません。

パソコン通信にはいろいろな種類がありますが、通信の相手について分けると2つになります。

エンド ツー エンド(End to end)

これはパソコンとパソコンをつないで、データのやり取りを行う方法です。つまり、プログラムの転送やデータの転送などに使います。通常は1対1の通信が原則になります。

現在では、この方法で通信をしている人は、あまりいないようです。RS

-232Cカートリッジが必要で、自分でソフトを作らないといけないうちが多いので、ちょっと手間がかかります。もちろん、モデムカートリッジでもできますが、実用的に使うとなると、ソフトはやはり作らなければならないでしょう。

もし友達などと個人的にデータなどを交換したい場合などは、次に説明するホストを経由した方が簡単です。

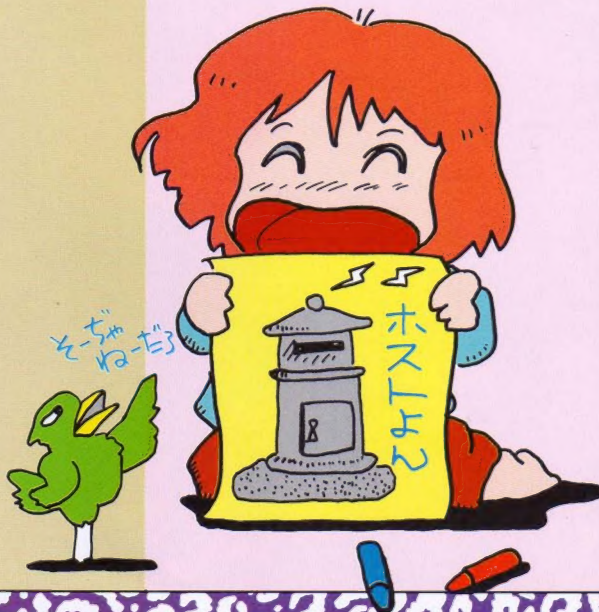
ホスト ツー エンド(Host to end)

これはホストと呼ばれるコンピュータがセンターになって、他のコンピュータ（もちろんMSXとか）と置と通信する方法です。

これが、一般的にいわれるパソコン通信、またはパソコンネットと呼ばれるものです。ホストは超大型コンピュータからMSXまで、どんなコンピュータでもかまいません。エンド・ツー・エンドと違うところは、1対1でなく不特定多数と通信してデータをやり取りすることです。またプログラムやデータの転送をやることよりも、不特定多数の人達とのコミュニケーションが大きな目的となっています。

で、つまり

パソコン1台だけだと、市販や自分で作ったゲームを走らせたりするだけで、ソフトウェアやデータは買ってくるか自作することになります。一方パ





ソコン通信は、手元のパソコンを使ってホストのコンピュータを操作することになります。つまり、自分以外の多くの人達とホストを共同で使うわけですから、外からいろいろな情報（プロ

グラムとか意見とか……）を取りこめるわけです。海外のホストともつながることができますから、アクセスできる広さは無限といってもいいでしょう。

大切なこと

パソコン通信で大切なことは、使い方にあります。つまり多くのネットワークサービスでは、情報提供や情報収集は、各個人がBBSシステムを利用して行います。つまり、参加するということは、自分が情報を受けるだけでなく提供もしなくてはならないということです。

もしも自分が提供した情報に過ちや誤解があれば、それは情報提供者自身の責任になります。誤りは多くのネットワークカーに大きな迷惑をかけることになります。誰もわざとやろうとするわけじゃないんだから、と思うかもしれませんが、これは間違いです。

ネットワークの運営はサービスを行っている企業の責任ですが、ネットワークのBBSの中の運営はネットワークカー自身に責任が生じてきます。

多くの人、それも年齢や性別を越えた付き合いを望むのであれば、自分自身を隠さず、何事も素直な気持ちで接することが大切だと思います。「多少インチキをしてもわかりゃしないだろう」では、いつしかまわりから取り残されていくことでしょう。

そうなってからでは後の祭。もう誰も相手にしてくれなくなってしまいます。せっかく入ったパソコン通信も、これでは宝の持ち腐れになってしまいます。もし過ちを犯してしまったことに気付いたら、早めに訂正しましょう。



友達に聞くと、パソコン通信で年齢や職業の異なった人達と知り合いになれるといっていました。本当ですか？ どうしてそんなことができるのですか。



電話を思い出してください。電話は友達か、あるいは親戚・知人にしかかけられません。知らない人の家に電話して「お友達になりませんか」なんていったら、変態扱いされちゃいますよね。

BBSは興味で集まる

パソコン通信（ネットワークサービス）の多くは、BBS（プレティンボードサービス）、日本語にすると「電子掲示板サービス」が主流になっています。

これは、いろいろなジャンルのいろいろなテーマごとに電子掲示板が用意されていて、サービスに加入した人（以下ネットワークカーと呼びます）が、興味のあるジャンルやテーマを自由に選んで読み出したり書き込んだりできるようになっています。つまり、興味が一致したテーマにネットワークカーが集まることになります。

そこは、年齢、職業、性別の異なった人達の集まりで、1つのテーマにい

ろいろな考えを持った人がそれぞれの意見を電子掲示板に書き込んでいきます。リアルタイムではありませんが、意見交換、情報交換ができるようになります。

チャットで輪は広がる

これとは別に、リアルタイムで多くの人と話をすることのできるチャットイング（リアルタイム会議システム）があります。これはホストによって名前が異なり、C Bシミュレータという場合や、またMSX-NETではVOICE（ボイス）といっています。

これは、同時に何人もの人がいっぺんにお話ができるシステムです（ただし4人とかそれ以上の人が同時に話し出すと、わけがわからなくなることもあります）。話すといっても、もちろんキーボードから打ち込まれた文字で話すわけです。慣れないとちょっと大変かもしれませんが、普通では味わうことのできない体験ができることも事実です。

問

パソコン通信のネットワークに加入するには、どうすればいいのでしょうか。また、オンライン・サインアップという方法があるそうですが、どういうものなんですか。

答

ネットワークへの加入は、そのネットワークによって異なります。

まず、どこの企業のどのネットワークサービスに加入するかをある程度決めておきます。別に複数になってもかまいません。

そして希望するネットに資料請求をするか、そのネットを紹介している雑誌（Mマガ9月号など）などにより、そのネットの性格やどんな人達が加入しているのか、そして料金はいくらかなのかを調べておきましょう。自分の希望するサービスが利用できるかどうか、重要なポイントです。

資料請求のできるネットワークは、比較的大きな企業がサービスを行っています。資料の中には、申請用紙や郵便・銀行振り込み用紙などが入っていることもあります。

加入することを決めたら、申請用紙に必要事項を記入し郵送し、入会金などを送金（通常は振り替え）することで、ネットワークへのアクセスに必要

なIDとパスワードがもらえます。ただし、IDとパスワードが送られてくるのは入会金などの振り込み確認やクレジットの登録などが終わってからになりますから、多少の時間がかかります。どれくらいで送られてくるかを確認しておくことも大切です。通常は1ヵ月くらいかかるようです。

ネット加入で一番簡単な方法が、オンライン・サインアップです。これは

問

パソコンネットに加入するためにはどれくらいの費用がかかるのですか。また、使用料などについても、教えてください。

答

パソコン通信で、最初にかかるのはモデムなどのハードウェア購入費用です。また、電話の接続をモジュラータイプに変更する場合は、電話工事代（配線を変更する場合も含めて数千円）が必要になります。

次に必要なのがネットワークへの加

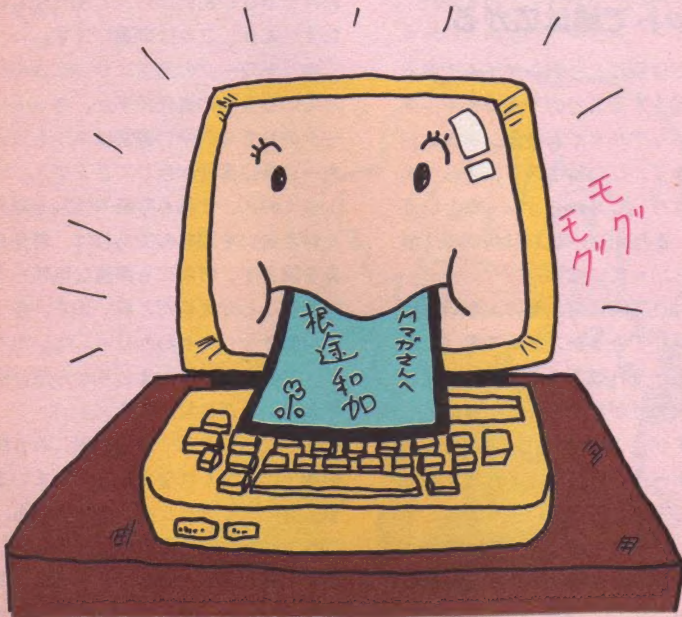
ネットに直接アクセスして、そのネットが気に入ったら、ID登録をそこでやってしまうのです。ただし、中にはオンライン・サインアップのためのIDとパスワード、それにマニュアルなどをセットにしたパックを本屋さんやパソコンショップで買わなければならない場合もあります。また、パソコンやワープロなどを購入すると、サービスでこれが同封されている場合もあります。オンライン・サインアップの場合は、通信パックさえ手に入れば、すぐに通信を始められるというメリットがあります。

入料金です。これはネットによってまちまちで、一概にはいえません。

例えば、日本電気が自社のVAN回線を利用してサービスしているPC-VANでは、入会金（登録料）が3千円となっています。また、接続料が3分間20円です。ただし、固定月額制にすると接続時間に関係なく、ひと月2千円となります。

固定月額制では、1秒も通信しない場合でも毎月2千円を支払わなければなりません。従量制なら一銭もかかりません。その代わり月100時間を越えて通信していると、固定制ではそれ以上支払う必要がないのです。従って、長時間アクセスすることが決まっている（決めている）のなら固定制、ときどきしかアクセスしないのであれば従量制料金のネットに加入すると得になります。

なお、料金の支払いは登録料金を含めて、銀行口座の自動引き落としになっているのが一般的です。またネットによってはクレジットカードによる決済を行っているところがあります（NIFTY-SERVEなど）。従ってパスワードの管理は厳重にした方がいいでしょう。



電子メールって便利?

*** パソコン通信のネットワークシステムに、必ずといっていいほど用意されているサービスが電子メールです。

*** 電子メールは、忙しい人どうしの連絡や、会合の連絡など複数の人に知らせたいことがある場合など、とても便利に使えます。

問 パソコン通信のパンフレットや広告によくある、電子メールって何ですか。パソコンから手紙文と宛先を打ち込むと相手に手紙がとどくというシステムのことですか?

答 読んで字のごとし、電子の手紙です。しかし、どうしてこんな中途半端な言い方をするんだらう。「電子」は漢字で、「メール」は英語。「エレクトリック・メール」とか「電子の手紙」って、……どちらもダメか。

さて、電子メールはネットワークサービスの1つのシステムで、郵便局に手紙を出してくれるというサービスではありません。そういうサービスもアメリカなどではあるようですが、まだ日本ではサービスしていないようです。一般的にいわれる電子メールは、ネットワークの会員間で、特定の相手に対して文書をやり取りできる機能を指します。手紙のように、第3者が見ることができないようになっているわけで、実際に紙に打ち出した内容が相手に届くわけではありません。

通常は、ネットワークに電話をかけてログインしたときに、「メールが届いていますよ」というメッセージが出ます。これで誰かからメールが来ていることがわかります。そして、メール読み出しのモードを選択すると、画面上に手紙の内容が表示されるというわけです。BBS(電子掲示板)が不特定多数を相手にした文書なのに対し、電子メールは特定の相手にだけ向けた文書という違いがあります。いずれにせよ、ホストの記憶装置の中だけにあ

るこの電子メールにはいろいろな機能があり、ネットワークによって機能やコマンドが異なります。しかし、手紙を出したり読み出したり、保存したりといった基本的な機能はみな同じです。

電子メールを出すには、手紙を出したい相手のIDを知る必要があります。このIDはログインするときに会員を

問 電子メールは、仕事に使えますか? よくアメリカのソースやコンピュサーブなどのネットワークで仕事に使っているというような話が紹介されていますが、日本ではどうなのでしょう。また、テレックスの発信サービスなどは行われているのでしょうか。

答 仕事に使えるかどうかというより、どう仕事に使うかを考えた方がいいと思います。現在の多くのネットワークはサービスを始めたばかりで、会員も趣味として加入している人がほとんどでしょう。ですから、本当の意味で仕事に使えるかといえば、現状では無理ではないかと思えます。

仕事で使おうと思うと、仕事上の相手がネットワークに入っている必要があります。付き合いのある人や取引先の人にも加入してもらわなくてはなりません。また、入っているとしても、毎日アクセスしてもらわないとビジネスには結びつかないでしょう。

しかし、例えば自分のやっている仕事の幅を広げたいのであれば、仕事上の立場を離れたところで、ネットワークを利用することができます。いろいろな人がアクセスしているわけですか

識別するものですが、これが電子メールの宛先にもなるので、メールを出すことができないわけです。また、IDを1文字でも間違えると、まったく別の人のところに行ってしまうから、注意が必要です。

電子メールのその他の機能として、複数の人に同じものを送ることができる機能があります。

電子メールは相手がネットワークにログインしないと読まれれないという欠点がありますが、相手がどこにいても(外国でも)そのネットワークにアクセスさえすれば届けることができるというメリットがあります。また、いつ連絡がとれるかわからない人どうしても、自分の都合のいい時間にログインしてメールを書いたり読んだりでき、なかなか便利に使えます。



ちょっと減るね

ら、考え方や立場の異なるいろいろな職業の人と話をしたり、掲示板にポストされた内容を読んだりすることで、役に立つ「情報」が収集できると思います。もちろん、収集するだけではなく、自分でも提供できる情報を教えたり、相談にのってあげたりといったことが必要です。みんなが受け取る側にまわってしまうと、何も得るものがなくなってしまいますから。

なお、テレックスなどのサービスは、日本の一般的なネットワークでは行われていないようです。

パソコン通信に必要なもの

◆ パソコンの通信だからといって、MSXだけではネットワークに入れない。コンピュータと電話回線をつなぐモデムやソフト、それに漢字を表示したりするいろいろなハードやソフトが必要だ。でも、MSXなら他のパソコンよりはるかに簡単にセットアップができる。モデムカートリッジとMSX-JEのおかげだ。

問

パソコン通信を始めたいのですが、本体以外は何も持っていません。また通信するために、どんな機材を購入すればいいのかもわかりません。MSX用ではどんな製品が出ているのか教えてください。

答

通信を始めようと思いついたときに、意外と便利なのがMSX。ゲームカートリッジを差すのと同じ感覚で使える、モデムカートリッジというのが発売されているからだ。これはMSX1でも2でも、とにかくスロットに差して電話線とつなげばOK。ホストコンピュータにアクセスするための通信ソフトもROMで内蔵されているから、始めに目指すBBSのデータを登録してしまえば、2回目からはMSXが自動的に電話をかけて、LOGINしてくれるという仕組み。だからMSXで通信するには、本体+モデムカートリッジがあれば、(とりあえずは)大丈夫ってわけなのだ。

モデムカートリッジの種類

それでは、その問題のモデム・カートリッジっていうのは、どんなものなんだろう。まずは写真をよく見てね。ゲーム・カートリッジを縦に2倍にしたみたいだね。これはソニーから発売されている「HB1-1200」というモデムだけど、他のメーカーのものも大体こんな感じ。ちなみに、現在発売されているモデムを列挙すると、まずソニーの「HB1-1200」と「HB1-300」。そしてキャノンの「VM-300」、パナソニックの「FS-CM820」、明星電気の「V-3」という具合。実に5種類ものモデム・カートリッジが発売され

ているのだ。

次にその中身。カタログなどを見ると、1200 bpsとか300 bpsなんて言葉が書かれている。これが何を示すかといえば、ある一定の時間内に送れるデータ量のこと。300より1200の方が、単純計算で4倍の量のデータを送れるわけだ。逆に考えれば、同じ量のデータをやり取りした場合、1200 bpsのモデムを使えば4分の1の時間で済むということ。電話代などを考えれば、どっちが得かはわかるよね。

MSXのモデム・カートリッジで、1200 bpsをサポートしているのは「HB1-1200」だけ(1200/300の切り換え可能)。値段は300 bpsのモデムに比べて多少高いけど、本格的に通信に取り組みたいなら損はしないはずだ。

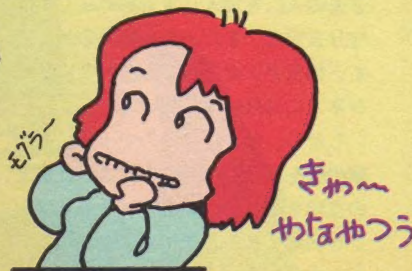
内蔵タイプもあるよ

さて、もしキミが今MSXを持っていて、MSX2も欲しいし通信もしたい、なんて悩んでいるなら、ソニーから発売されている「通信パソコン・HB-T7」に注目しよう。これは2スロット仕様のMSX2に、JIS第1水準の漢字ROMと1200 bpsのモデムを組み込んだもの。価格も、一番安いMSX2にHB1-1200を組み合わせたより、少し低く押さえられているからお得だ。

また「株式会社ターミナル・HB-T60」という、ディスク内蔵型の通信パソコンもソニーから発売されている。これを通常のパソコン通信に使うには、別売のキーボードを買い足す必要があるけど、なかなかユニークなマシンだね。



ぼくのようなネットワークにあては
300ボーテってのは まにあわな
のよね。あんなにいいやつあった。



モザラ
まわ
かたやつ

問

ソニーのHB-F1に、キャノンのVM-300をつないで通信をしています。漢字の表示は漢字ROMを購入すればできるとのことですが、それでは漢字の入力をするには、どうしたらいいのでしょうか？

答

前のページで、本体(MSX)とモデムカートリッジがあれば、とりあえず通信は可能だと書いたね。この「とりあえず」って但し書きを付けたひとつ目の理由がこれだ。つまり、ネットワーク上での漢字の扱いをどうするかということ。

現在市販されているMSXの中には、初めから漢字ROMを内蔵している機種もけっこうある。でも、質問にあるF1やA1のような低価格帯のもの、さらにはMSX1の多くの機種の場合は、漢字ROMカートリッジを購入する必要が出てくる。MSXへのセットは、スロットへ差すだけでいいから簡単なんだけど、ここで1つ問題が持ち上がることにキミは気づいたかな？

「えーと、通信するためにモデムカートリッジが必要で、漢字の電子掲示板(ボード)を読むには漢字ROMが必要。つまり2つのカートリッジを同時に使うわけだから……」そう、MSXには最低2つ以上のスロットがないと、漢字を扱った通信はできないというわけだ(MSX本体に漢字ROMがない場合)。もし1スロット仕様、漢字ROMなしのマシンを使っているなら、拡張スロットなどを用意しない限り、漢字の通信はあきらめなくてはならない。

漢字を書き込む場合

次に、漢字のメッセージを書き込む場合を考えてみよう。質問の場合は、使用のモデムがキャノンのVM-300とか。これには「MSX-JE対応」という表記がされているはずだ。MSX-JEというのは、MSX標準日本語処理ソフトのことで、この仕様で準拠して作られたワープロ・ソフト(MSX-WriteやFS-4600Fなど。どち

らも漢字ROM内蔵)は、「MSX-JE対応」と表記のあるアプリケーション・ソフトと組み合わせて使うことが可能になる。つまり、漢字ROM

のかわりにMSX-Writeを使えば、簡単に漢字のメッセージを書くことができるというわけだ。

MSX-JE対応のモデムは、「VM-300」の他に、ソニーの「HB1-1200」、パナソニックの「FS-CM820」、明星電気の「V-3」がある。つまり、最初に発売された「HB1-300」を除けば、どれも「MSX-JE対応」というわけ。

またMSX-JEに準拠したワープロは、前にも書いたようにアスキーの「MSX-Write」と、パナソニックのワープロ・パソコン「FS-4600F」、そして「4600F」のワープロ部分だけを切り離して製品にした、ワープロ・プリンタ「FS-PW1」がある。どのワープロも、「MSX-JE対応」のモデムと組み合わせることができるから、各自の好みで選択しよう。

問

パソコン通信では、フロッピーディスクがあると便利、ある本に書いてありました。どのように便利なのでしょう。また、ディスクを持っていないと、何か通信をするときに支障があるのですか？

答

まず初めにいっておくと、パソコン通信を楽しむのに、ディスクがどうしても必要なわけではない。前にも書いたように、本体(MSX)とモデム・カートリッジ

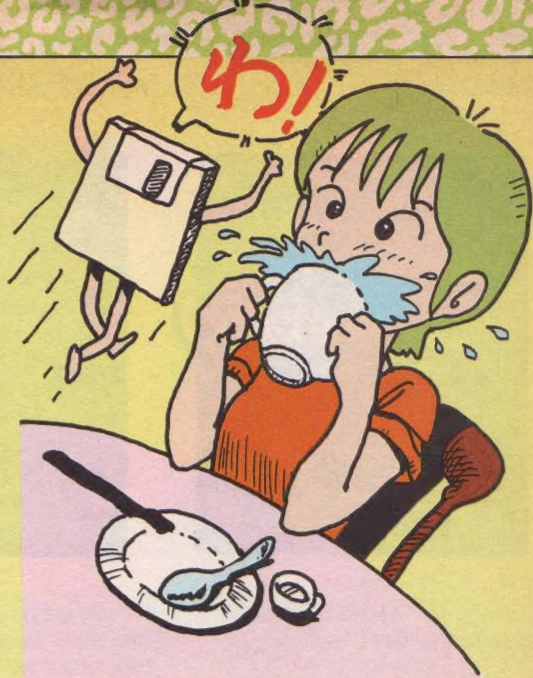
漢字表示のオマジナイ

最後に、漢字表示をする場合の、ネットワークの画面設定の話を少し。もしキミのマシンがMSX1なら、どう頑張っても表示される漢字は、横16文字×縦2行程度。これではちょっと長いメッセージになると、読みづらくてしょうがないね。けれど、これがMSX2になるとかなり改善されるのだ。

モデムの設定画面を見ていると、インターレス・モードというのがある。これはMSX2専用の機能で、半ドットずらした2枚の画面を、交互に表示するものだ。多少ちらつくので目が疲れるけど、横40文字×縦25行の漢字表示が可能になるのは魅力的。MSX1で頑張って通信するのもいいけど、これを機会にモデム内蔵のMSX2(ソニーのHB-T7など)を買ってしまうのもいいね。

があれば「とりあえず」の通信は可能なのだ。

これに漢字ROMや、MSX-JE準拠のワープロが加われば、よりパソコン通信がおもしろくなることはわか





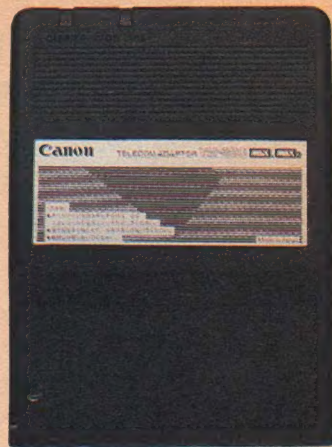
ソニーHBI-1200・価格32,800円

300/1200bps全二重対応の通信カートリッジ。MSX-J E対応となっているので、MSX-Writeなどのワープロ機能をフロント・プロセッサとして、通信中に起動することができる。



ソニーHBI-300・価格24,800円

300bps全二重の通信カートリッジ。MSXで初めて開発されたもの。価格は最も安価だけど、MSX-J Eに対応していないなど、機能面でそれなりの制約はある。



キヤノンVM-300・価格27,800円

300bps全二重の通信カートリッジ。MSX-J E対応なので、MSX-Writeとの組み合わせが可能だ。パイロットランプが付いているので、通信状態のモニターが容易になっている。なお、明星電気のV-3もVM-300とほぼ同じ外形で、機能や価格も同じ。

ソニーHBT7・価格509,000円
1200/3000bps全二重モデム(HB1-1200相当)内蔵のMSX2通信パソコン、通信ソフト、漢字ROMも内蔵なのですぐに通信が始められる。モデムと漢字ROMのためにスロットを使わないから、ディスクをつないだりといった場合でも安心だ。



っているね。さらにディスクが加われば、いろいろと便利なことができるというわけだ。

それでは、ディスクの最大の利点ってなんだろう？「それはファイルのアップロード、ダウンロードができること」。だれに聞いても、こういう答が返ってくるはずだ。自分で作成した文書ファイルなどを、ネットワークにディスクから書き込んだり(アップロード)、ネットワーク上に蓄えられた大量のデータをディスクに記録したり(ダウンロード)することが、可能になるというわけだ。

ソニーHBT6000・価格1,019,000円
証券会社のホストに接続して、株式情報を引き出すために作られた専用パソコン。1200/3000bps全二重モデムを内蔵し、株式通信のためのソフト「株式管理」と、専用キーボードが付属している。といっても、中身は立派なMSX2。

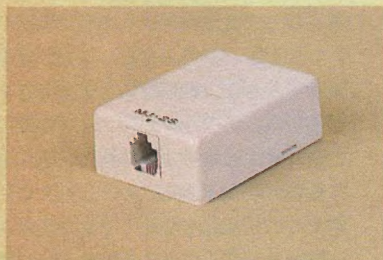


もしキミが自分で創作した小説や、楽しいプログラムなどをネットワークに書き込もうとすると、オンライン(ホストコンピュータと自分のパソコンを、電話線を通じてつなぎっぱなしにした状態)で作業をしたとしたらどうだろう。ワープロソフトなどに比べ、ネットワーク上で入力した文章を修正するのもやりづらいし、第一そんなことをしている間にも、恐怖の電話代は刻一刻と加算されていく。自分でも満足のいかない、中途半端なものを書き込むのがやっつだろう。



パナソニックFS-CM820・価格29,800円

300bps全二重と、1200bps半二重に対応した通信カートリッジ。前者は通常のBBSに、後者はザ・リンクスへのアクセスにと、1台で2役の機能を持つお得用モデムだ。ただし、1200bps全二重通信はできないので注意。



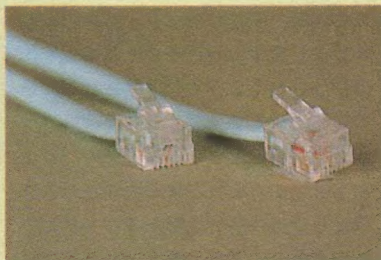
モジュラージャックとプラグ

モデムと電話回線を接続するのに、最近ではこのタイプのプラグとジャックで接続するようになってきている。この方式だと、電話の接続を工事担任者の資格なしに行うことができる。ただし、ジャックの取り付け工事はモデムの販売店やNTTにやってもらう必要あり。以前のタイプのプラグやネジ止め式を使っている場合は、モジュラー型に変えてもらおう。



MSX-Write

漢字入力フロントエンド内蔵のワープロカートリッジだ。HBI-300を除くモデムカートリッジと同時に使用すると、漢字の入力ができるようになる。第一水準の漢字ROMも内蔵している。



アップロードできると

これが、ディスクがあるとどうなるか。まずはワープロソフトを起動して、じっくりと文書を作成。気分が乗らなければ、ディスクにセーブして途中でやめてもいいし、コーヒーでも飲みながら頭の中を整理してもいい。また、書き上がった部分をプリントアウトし

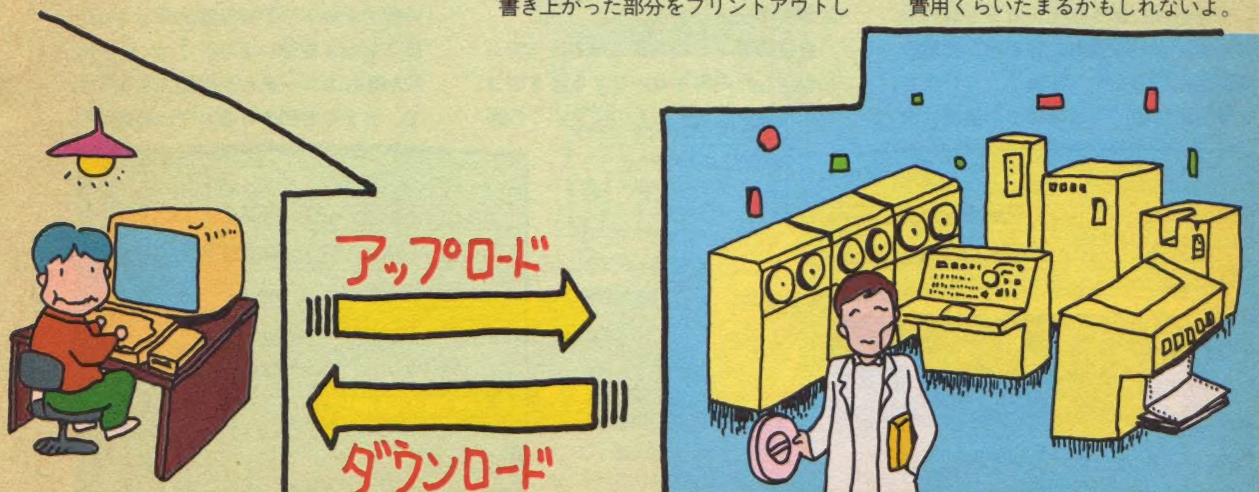
て、推敲するのもいい。電話代を気にすることもないわけだから、納得がいくまで書き直して、より完璧なものを作ればいいわけだ。

こうして文書ができ上がったら、目指すネットワークにアクセスして、ディスクにセーブしてあるファイルをアップロード。これなら電話代も最小限で済むし、誤字脱字のないものが書き込めるといっわけ。

ダウンロードも便利

ダウンロードはこの反対。何画面にも及ぶ長いメッセージをオンラインで読んでみると、時間もかかるし目も疲れる。そこでディスクを用意して、一気にダウンロードしてしまおう。後はログアウトしてから、暇な時間を見つけてゆっくりと内容に目を通せばいい。特に重要なものはプリントアウトするなんて手もあるね。またプログラムなら、いちいちキーボードから入力しなくても、そのまま実行できたりする。

アップロードにせよダウンロードにせよ、オンラインで作業したのと比べれば、必要とする時間は雲泥の差。特に使用しているモデムが1200bpsなら、その速さに涙が出てくる。「パソコン通信を始めて電話代が異常に高くなった」なんて話をよく聞くけど、アップロード、ダウンロードをうまく使えば、たいてい気にしなくてもすむはずだ。それより、パソコン通信する時間を2〜3ヵ月セーブすれば、ディスクを買う費用くらいたまるかもしれないよ。



通信パラメータの 設定



モデムカートリッジやネットワークのIDなどがそろったら、通信パラメータを設定しないと通信はできません。これは、ネットワークによって異なりますから、ネットの説明書をよく読んで意味を知っておく必要があるでしょう。



モデムカートリッジ（HBI-1200）を持っていますが、通信の設定があまりよくわからないのです。意味など詳しく説明してください。



MSXのモデムカートリッジは接続などが簡単で、通信ソフトも内蔵されているなど、画期的なモデムです。ですから他のモデムなどを接続して使うよりはるかに簡単なのですが、通信パラメータの設定などは行わなくてはなりません。これらはちょっと専門的なのですが、正確に設定しておかないとちゃんと通信できない場合もあるので注意が必要です。ここではVM-300を例に取って設定方法を説明しましょう。

まず、ネットの登録です。MAKEキーを押して（写真1）、ここにはネットワークの名前や電話番号を設定します。ログイン手順も登録できますが、わからなければ使わなくても困りません。

一番最初に出る画面でコントロールキーと@キーを同時に押すと、初期設定画面になります（写真2）。AUTOEXECは電源ON時にこの通信ソフト

「TELCOM」が自動的にスタートするかどうかを決めます。SPEAKERは、回線をモニタするかどうかを設定します。AUTOにしておくと、最初はONでネットに接続されるとOFFになります。LINEは電話回線がプッシュ式かダイヤル式かを設定するものです。AREA・CODEは電話番号登録で市外局番をキャンセルするためのものです。例えば03と市外局番を設定しておいても、ここに03と登録するとダイヤルされません。また045なら発信してくれます。このカートリッジを持ち歩くときに便利です。EXTENTIONは、会社内など内線から外線に接続する場合などに、電話番号の前に付加する番号を入れておくものです。コロン「:」を付けるとその位置でポーズします。

最後のFILE・NAMEはモデムに設定した内容をセーブするときのファイル名を設定するものです。この画

面でファンクションキーのSAVEを押すと、内容がディスクなどにセーブされます。

パリティやコードの設定

ここまでで説明した内容は、そんなに難しくありません。電話をかけられる人なら大抵推測できる内容です。

しかし、パリティやビット長、漢字コードなどは、知らないと設定できません。ネットワークのマニュアルやパンフレットには必ずこの種の記述がありますから、どれがどのパラメータに対応するのかを知らなくてはなりません。

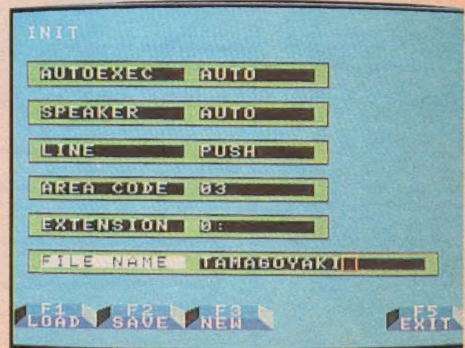
設定は写真1のところで、ファンクションキーのSETTINGなどを選ぶことで行います。すると画面は写真3（VM-300）や写真4（HBI-1200）のようになります。最初のビット長（bit length）は、1文字を何ビットで表現するかを意味します。国内のほとんどのネットは8ビットなので、カーソルキーを押して8ビットを選びます。なお、一部のネットやアメリカのネットなどは7ビットを使います。7ビットだと128種類のコードしか送受できないので、カナなどのやりとりでは後述の力

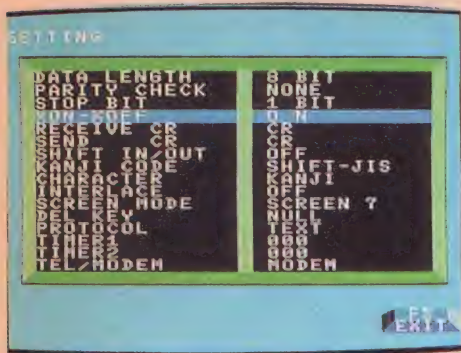


◆写真1 MAKE画面

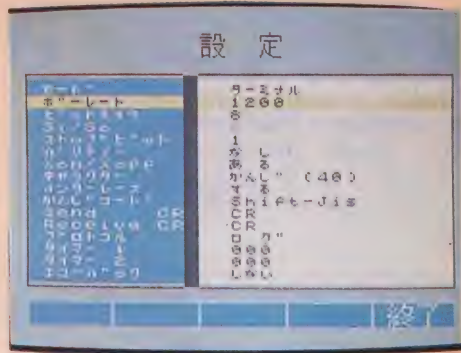
ここでネットの名前や電話番号、それに通信パラメータなどを設定します。F2で内容クリア、F3で登録全体を削除できます。パラメータはF1で行います。

◆写真2 カートリッジの初期設定
各ネットの電話番号の前に付加する番号やこのソフト自身の自動スタート設定などをこの画面で行います。初期画面でCTRL-@の入力で切り換わります。





◆写真3 パラメータの設定



◆写真4 パラメータの設定

ナ・シフトコードを使います。また7ビットではシフトJISの漢字コードは送られません、JIS漢字コードは送受信が可能です。

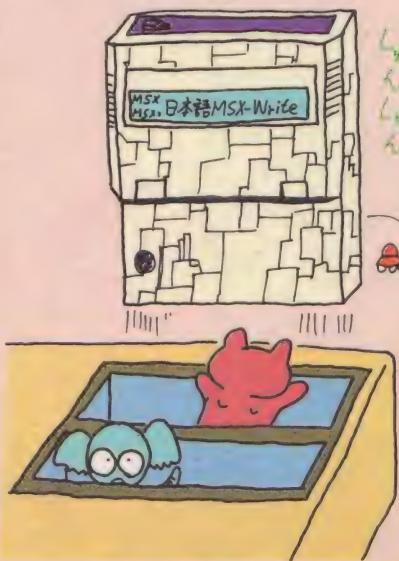
パリティは、1文字を表すビットに誤り検知用のビットを1ビット追加するかどうかの設定で、8ビットのときは通常使用しません。7ビットのときにはパリティなし、偶数・奇数パリティやパリティ無視などが設定できます。アメリカなどではEVEN（偶数パリティ）を使用している場合が多いようです。また、VENUS-P（KDDの国際パケット通信）ではパリティ交換を行う機能もあります。この機能を使う場合は必ずしも相手のパリティに合わせなくても通信できます。

ストップビットは、1文字を7～8ビットで送った最後に、1文字分のビットを送りましたという印として送るビットのことで、2ビットの方が印としては有効ですが、それだけ通信速度が遅くなってしまいますので、普通は1ビットのみを使います。ネットワークが1ビットなのにここを2ビットにするとうまく通信できないこともあるので、1ビットにしておきます。

シフトイン/シフトアウトは、7ビットで1文字を表現するときのシフトコードを使うかどうかを設定します。8ビットのときには使いません。7ビットのときには0～127の文字コードしか使えないので、MSXなどで128～255までの間にあるカナ文字コードを表示するための機能です。この機能は日本ではあまり使いませんが、海外のネットワークでカナを使う場合に有効です。これはSICOD（0FH）

を送ることで以降のコードはカナコード（128～255）と認識するようにするもので、SOコード（0EH）で元に戻ります。

SEND・CRとRECEIVE・CRは、送信受信時の画面の復帰コード（CRで0DH）を受信したときに改行コード（LFで0AH）を自動的に付加するかどうかを設定します。これもネットに合わせるのですが、LFコードはネット側で付加する場合がありますので「CR」のみにしておきます。通信中の行間に必ず空白行が入ってしまう場合は、この指定が「CR+LF」になっていないか確かめてみてください。送信のときLFコードを送るとネットによってはこれもCR・LFコードに変換するものもあり、この場合は空白行が2行になってしまいます。逆に1行に重複して表示されるようなときはCR+LFを指定します。



漢字コードには、JIS、シフトJIS、NEC漢字などがあります。使用するネットにより異なりますが、多くはNEC漢字コードとシフトJISが使われています。どちらも使用できるネットなら、シフトJISの方が文字化けを少なくすることができます。また、MSXのひらがななどを使う場合はANKに設定します。これはアルファベット、数字、カナなどを表示するモードです。

なお、シフトJISを使っているネットでMSXのひらがなを使うと漢字コードに化けてしまうことがあるので、通常はカナを使うようにすべきです。

インターレスとスクリーンなどはMSXの画面設定なので、自分の好みで選択します。漢字を表示するときは、インターレスONでグレイスケールを選び、モニタ画面の輝度を落とすと画面いっぱいに表示できます。ただしコンジット信号で画面を表示している場合は小さな字では読めないで、自分の見やすいモードを調べましょう。

というわけで、簡単な説明になりましたが、ネットとの通信で大切なのはボーレート、ビット長、パリティ、ストップビット長、文字コードの種類です。ネットの説明書をよく読んで、正しく設定してください。

なお、通信中にこれらの設定を変えることもできます。通信中にSHIFTキーを押しながらSELECTキーを押すとSETTINGと同じ画面が出ます。またMSX-Writeを使っているときは、GRAPHキーとSELECTキーを押すと漢字入力ができます（ただし、HBI-300で不可）。

チャットで楽しむ方法

◆ 多くのネットワークでは、複数の人が同時に会話できるチャット機能が用意されています。これは、パソコン通信の特徴ともいえるサービスです。見ず知らずの人たちとキーボードを通して会話できる便利な機能ですが、最初はちょっと勇気がいるかもしれません。でも、慣れればとても楽しい機能です。

問

パソコン通信にチャットというサービスがあると聞いたのですが、どういうものなのですか。

答

パソコン通信で、チャットという言葉が耳にしたことがない人は少ないでしょう。英語での本来の意味は「おしゃべりする」というものなのですが、日本で、特にパソコン通信の話題の中でしばしば聞かれるこの用語は「オンラインでのおしゃべり」を意味します。

そうはいつでも、知らない人から見れば見当もつかないでしょう。アスキーの運営する3つのパソコンネットワークではどれもこの機能をサポートしていますが、サポートしていないネットワークもあります。

また、ネットワークによって名前が異なることも戸惑いのものになっています。パソコン通信の本場アメリカでは、一般的に「CBシミュレータ」という名称で呼ばれています。CBとは市民バンド無線、今の日本でいうな

ら「パーソナル無線」のことをさしています。そういえば、アスキーのネットワークでは「VOICE (ボイス)」という名前になっています。しかし、これらの機能はどれも同じようなものです。

ただ、一般にパソコン通信というとなまず引き合いに出される「BBS」と「電子メール」に並んで、「チャット」はユーザーにとってとても身近で使用頻度の高いコミュニケーションの手段となり、さらにチャットでしか実現できないコミュニケーションというものがあります。そのあたりを説明してみましよう。

多数の相手と同時に話せる

このようなことをパソコン通信以外でやろうとすると、実際にみんながどこかに集まるしかありません。といっ

ても、それぞれの人にはいろいろなスケジュールがありますから、集まる日時の設定には大変苦労することになります。しかし、ネットなら大抵の人がヒマになる深夜など、それぞれの自宅にいて話ができるわけです。電話と同じですが、複数同時というわけにはいきません（そういうサービスもあるようですが）。

また、ネットワークにはいろいろな人がアクセスするので、思わぬ飛び入りが期待できます。これを考えると、会議というよりはパーティに近い感じですよ。

口で話すわけではない

いわば指で話すわけですよ。話し上手・聞き上手などという言葉があるように、同じ人間がそのコミュニケーション手段によってあたかも別人のように見えるということは経験があると思います。これと同じことがチャットについてもいえます。簡単にいえば、もう一人の自分が現れるなどといってもいいわけですよ。

話し上手は聞き上手などといわれますが、チャットの場合はまた別の法則が成り立っているかもしれません。

問

うまいチャットの方法を教えてください。

また、タイピングが早くないのですが……。

答

最初は、普通初対面の人の中に飛び込む形になるので、多少緊張するのは仕方がないと



思います。しかし、たいいていチャットしている人というのはおしゃべりをしたくて集まっている、結構ヒマな人たちということになりますから、その雰囲気に合わせてスムーズなチャットの基本といえるでしょう。

具体的にな、あまり年齢・社会的立場などにこだわって必要以上に堅苦しい言葉づかいをしたり、ちゃんとした内容のキチンとした日本語になるまで考えてしゃべる、というようにしていると、もっともらしいようで実は場の雰囲気をさましてしまいます。

といっても、もちろん何をしゃべってもいいというわけではありませんが、親しい友だちと普通にしゃべるときのような態度を原則的な線におくのが、やはり妥当なようです。

それからタイピングの速度について触れておきましょう。チャットの常連さんたちは、確かに目にも止まらぬ早さで（300ボーだとうやっても目に止まってしまうのですが）キーをたたくことがあります。しかし、そうだからといって同じ早さで返事をしなければ迷惑だというようなことはまったくありません。おしゃべりなのですから、しゃべりたいときに自分のペースでしゃべればいい、というだけの話です。

たとえ質問されたりしても、そんなに急いで答える必要はないし、「もっ

1人ずつ話してくれなくとボクわかんない



と早くキーを打て！」なんて催促する人もいません。

誰でも最初のうちは遅いわけて、キーボードをたたいているうちに段々と早くなっていきます。また、MSX2ではローマ字カナ変換ができるので（シフトキーを押しながらカナキーを押す）、MSX2を持っている人はこれを使った方が早く打てるかもしれません。

タイピングが遅い場合は、打っているうちに話題が変わってしまっているなどということもありますが、これもある程度慣れると、タイミングがうまくつかめるようになります。チャットはあくまでも楽しむためにあるわけですから、あまり考え過ぎないで楽しくやればいいのです。

[トントカイト] イマヒマナノ？
[Shar] マカ、トクシヨウ ケンコウ カキオケテ イナイ。
[トントカイト] ソーカ、クインクアロー！ ワカル ワカル
[Shar] ショウチヨウツラ 14 ヲーシ？ モ カキセムンガ？カ。
[トントカイト] ホ？ケ モースク トクシヨウ！ オナカイ クーイン
(Leo[mx00157] comes in)
[Leo] ホ？
[トントカイト] コシ > Leo
[Leo] ナニ シテシノ？
(△マシヨウN[mx0154] comes in)
[Leo] NO
[トントカイト] NO NO
[△マシヨウN] NO-
[Leo] ケンサ？ > △
[Shar] コレハ コレハ、△マシ イハ！イハ N ケン
[トントカイト] オア ミナケン コセキオケテ！
[△マシヨウN] ママア デス。
[△マシヨウN] ナンダ？スタリハ > シト
[Leo] ホ？ハ ケンコーカ？ コクテ コマケル！
[Shar] カイ？ イノカナ？
[Leo] カ？チ Fir カ？ コケケン ケン！
[△マシヨウN] ウリ！
[Leo] ケンセ イケチナイノ アイツ！
[△マシヨウN] シアト トクシテ？スガ > レ
[Leo] ア？ ケセチ イケチシノ
[Leo] ア？
[△マシヨウN] ハワイ イケチシノ？ > レ
[Leo] マー ナルヨクニ ケルデ？シヨ！
[トントカイト] ソ！
[Shar] ヒハ！ オナシ？ アマチラ クリアス
[Leo] コト 無キマ？チ イカラ ケ？シヨウア？
[Leo] > N
[△マシヨウN] モオオ
(Firee[mx00229] comes in)
[Leo] オ！
[Firee] NO- カオウカ？ オナシ
[△マシヨウN] マ？ ---
[Leo] ウツラ スレイ？
[トントカイト] クレ！ タイミンク
[Leo] マ？ハ マ？カ！ > Fir
[Firee] ナン？ ココ？ HERRYカ？ ハイレハ 4-8 マ？
ナラデ？ハ イナ
[Leo] カ？ハ
[Firee] マ？ > Leo
[Leo] 無
[△マシヨウN] スル！イ > フ
[Leo] トー スンク？ヨ！ > Fir
[Firee] カオウカ？ オナシ
[Leo] ハワイ ニ イケタイ > F
[トントカイト] イタ イタ
[Shar] イイカ？
[△マシヨウN] ケ？メ？ヨ ケ？コンク？ウカイ シヤ？ > フ
[Firee] ケー コナ？カ？シ？ マ？ スンク？ム、ソ？ノ？ セツメ？ス
ルカ？ > Leo
[Leo] ケ？ウチ イツ？
[Firee] ハワインカ？ ケ？ン スルカ？！
[Leo] FAX デ？モ、イシ？ フルルカ？
[Firee] ケー マ？チ？チ？ イク？ン？ク？ト... > Leo
[Leo] ケー ヴレハ シ？シヨウ？
[Firee] フク？カ？シ？ シ？ク？ノ？ イ？ク？チ？イ？ コ？チ？
[Leo] デ？ XXXX デ？ケ？ノ？
[Firee] イチ？オ？ デ？ケ？
[Firee] シ？コト カ？イ？ヨ？シ？ク？ (オ？ロ？レ？ナ？ コ？ハ)
[Leo] イチ？オ？ケ？チ？カ？ コ？イ？
[Leo] シ？ト トクシ？ク？ ニ？セ？ン？チ？ケ？ル？ク？ケ？！ > F
[Shar] Fノ イチ？オ？ハ A シ？ト？ コ？シ？ハ？ハ？ハ？イ？ト？オ？
シ？ク？カ？ケ？？
[Firee] コ？コ？コ？
[△マシヨウN] スイ？セ？ン？シ？コ？ト？カ？ フ？ル？ノ？チ？マ？ス。
[Leo] ハ？イ？
[Firee] ハ？イ？チ？
[トントカイト] シ？チ？
(△マシヨウN[mx00154] goes out)
[Firee] △マ？ケ？チ？ カ？ケ？
[Leo] ト？コ？チ？ LOG ト？ケ？ケ？ケ？チ？ シ？ケ？ク？ > F

問

口下手なのでチャットをやろうとするのですが、なんとなく怖くて仲間に入れませんが……。

答

感じとしては、話し上手なのとチャット上手(?)なのは、必ずしも関係がないと思います。例えば、面と向かえば平気で話せるのに、電話だと話すのが苦手という人や、またその逆だという人もいるわけです。チャットは相手の顔が見えないし、会ったこともない人と会話することがほとんどですから、少々緊張するのは仕方がないかもしれません。しかし、相手にしてみても自分のことがわからないわけです。せっかくなので、堂々とやった方が得ですね。

自分が口下手だからということを経験しては、なかなか仲間に入れないかもかもしれません。しかし、もしかすると相手も、同じように考えていて勇気を出してチャットしているのかもしれない。思い切ってチャットしてみましょう。

私の知っている人で、普通に会うとおとなしく無口なのに、チャットで話すと多弁になる人が結構います。そういう人を見ていると、チャットは口下手の人のためにあるのではないかと考えてしまいます。

絵やマシン語を送る

◆ パソコンなんだから、絵やマシン語を簡単にやり取りできると思ったらそうはいかない。ちょっと難しいのだ。でも最近はいろいろな人が頑張って通信するためのソフトを作って無料で使わせてくれたり、ホストも対応するようになってきている。これからが楽しみな分野だ。

問 パソコン通信で、アニメなどの絵(もちろん静止画ですが)が送れると雑誌にあったのですが、どうやったらできるのですか。

答 現在のパソコンを対象としたネットワークでは、画像を対象とした通信システムを確立しているところはほとんどありません。まだまだパソコンネットは幼年時代、試行錯誤でよりよいネットをめざしている段階といえるでしょう。むろん、パソコンネットで簡単に画像を送れるようなシステムもネットに加入している人が要望を出せば実現も早いだろうけど、きちんとサポートされるのはもう少し先のこともかもしれません。

と、ここまでの話は、本来の意味での画像を送ることを考えた場合。単に絵を送りたいというときは、例えばMSXで自分が作った絵をネットワークの仲間に送りたいなんていうのは、それほど難しく考えなくてもできます。

絵を送るしくみ

現在の、文字の送受信を目的としたネットワークを考えてみてください。文字を送るというのは、どういうことなのでしょう。パソコンの中では、文字は2進数のデータとして記憶されることは知っていますね。例えば「A」という文字は01000001(2進数)というコードで表されます。このコードはMSXのキャラクタコードとほぼ同じものが使われています。

つまり通信とはこのような1と0のデータをやりとりすることです。ですから逆に考えると、01000001というデータを画面の1ドットの色として送り、受けた方が送った方の決まり(画面の

どの位置のデータから送信するかなど)に基づいて再現してやれば、画像は簡単に送れることになります。送り手と受け側の橋渡しがいさかりできていれば、実際に送ることができます。

問 パソコン通信でマシン語プログラムをやりとりするにはどうすればいいのですか。

答 通信を滞りなく行うためにプロトコルというものがあります。プロトコルは日本語に直すと「通信手順」で、例えばキャラクタコードやモデムの種類、ビット長などもこれにあたります。

このプロトコルには、いろいろな種類があって、雑音などでデータが間違っただけのときにどうするか、とかマシン語コードを送るときどうするかといったことを決めたものもあります。

一般的にパソコンネットが使っているのが「テキストプロトコル」といわれるもので、誤り検出や訂正はコンピュータが行わず受け側の人間がやります。また、CR・LF・XOFFなどのコードが画面制御や通信制御に使われます。

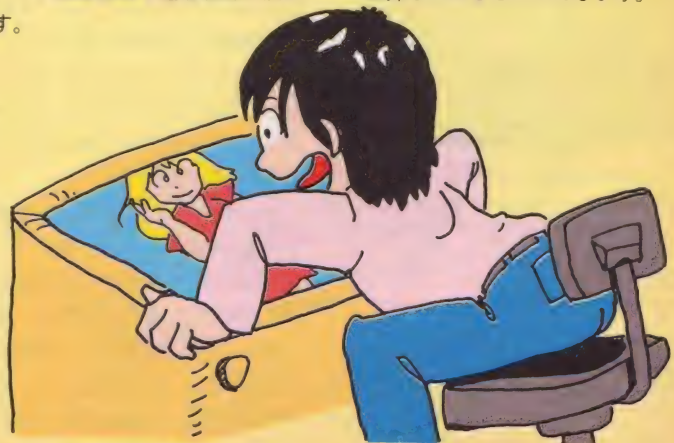
画像通信には、このような画面の1ドット1ドットをデータとして送る他にも、いくつかの方法があります。

例えば、円を描け、点を打てといった単純なコマンドを組み合わせて絵を作り、コマンドの手順をデータとして送る方法があります。受け側のパソコンでは、そのコマンドを解読し、線を引いたり点を打ったりするわけです。

パソコン通信で一番簡単なのは、BASICで絵を描くプログラムを作って、それをアップロードする方法です。受信側はそれをダウンロードして、BASICの状態でRUNすればいいわけです。

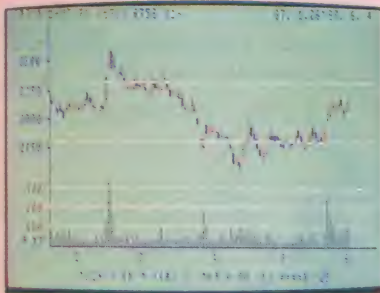
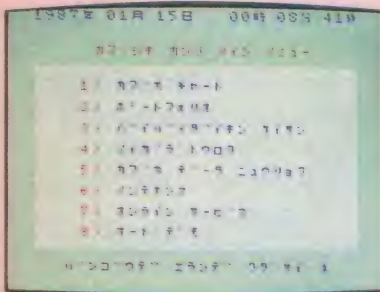
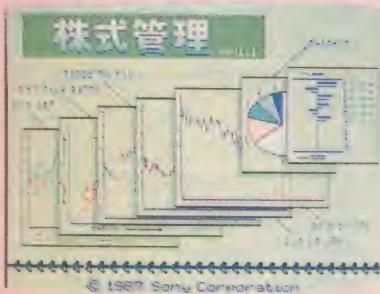
ところでマシン語プログラムの場合には、1バイトで表現できる00~FF(16進数)をすべて使います。これをテキストプロトコルで送ると、制御のコードなどはうまく送受信できなくなります。そのために、テキストプロトコルでも送れるようにするためのコンバートソフトを使ったり、マシン語などの16進コードを送る「XMODEM」などのプロトコルがあります。ただし後者は、ホストが用意していないと通信できないので、マシン語送受信が目的でネットに入る場合は、ホストの仕様を確かめておく必要があります。

なお、コンバートソフトなどは、ネットワークのPDS(パブリック・ドメインソフトウェア)などの掲示板に説明が書かれていたりポストされたりしますから、すでに加入している人は探してみるといいでしょう。



実用的なパソコン通信

※ パソコン通信は遊びだ、なんて油断していると、大切な情報を取り逃がしてしまうかもしれません。パソコンを通信端末にすると、株式情報や新聞記事、企業情報などを簡単に入手することができます。クルマがドライブにも得意先回りにも使えるように、パソコン通信も遊びに仕事に使えるのです。



ソニーの「株式管理」
株全般に関する操作だけでなく、証券会社のオンラインサービスを利用できる。株に興味を持っている人には見のがせないソフトだ。

問

今にも株価が暴落しそうな気がして、シロートが手を出す幕じゃなさそうですが、オンラインの株式売買には興味を持っています。どの証券会社がどのようなサービスをやっているのか、教えてください。

答

今、世間では財テクブームだそうで、株式に興味を持っている人も多岐にわたります。超低金利時代に突入したので、ただボーナスと貯金していたのでは、どんどん持ち金が目減りしてしまいます。

おまけに首都圏を中心とした土地の倍々ゲームの暴騰！ これでは誰だって株で大もうけしようと、たくらむのも当然といえば当然で。

しかし、株は一種のギャンブルみたいなものです。NTT株のように確実に（今となっては確実にだったといえるのかもしれませんが……）、もうかる株はなかなかありません。質問にあるように「シロートが手を出す幕じゃない」のかもしれませんが。

「今にも暴落しそう」なときは、暴落するのを待ってみてはどうでしょうか？ 底値になったときに「買い」を出すのが一番安全な株の買い方ではないでしょうか。ただし「もうはまだなり、まだはもうなり」です。初心者の方には、どこが底値か判断するのは易しいことではないでしょう。

ということで、本題に入ります。まずは、大和証券の「大和のパソコン・ホームトレード」。サービス内容には、株式売買注文、株式注文取消、株式注文照会、株式約定照会、株価照会、株式残高照会、中期国債ファンド売買注文、残高照会、出金指示などがありま

す。
次は、山一証券の「サンライン」です。こちらの場合は、パソコンの種類別にサービスが3つに分けられています。MSXおよびMSX2の場合は、「サンラインP・ポピュラータイプ」のサービスが受けられます。大和証券の場合は今のところほぼ無料のようですが、こちらは年額3万円の利用料金が必要となります。サービスの内容は、時価速報、個別株式銘柄情報、マーケット情報などです。

なお、この他の証券会社でもパソコン通信を行っていますし、これからサービスを始める準備を進めている証券会社も多数あります。また、利用料金も、口座がある場合年間取り引き額によって無料になったりする場合もあります。サービスの内容は、始まったばかりということとときどき変更される可能性があります。各社の詳しい内容は、証券会社の支店で直接聞くのが一番いいでしょう。

ところで、大和・山一のどちらの証券会社のサービスも、ソニーの「株式管理」と併用することができます。もちろんソニーの「HB-T600」なら、すぐに株価情報を取り出すことができますね。

問

パソコン通信は遊びとか趣味だと思っていますが、仕事で使えるようなデータベースなどのホストはないのでしょうか。

答

現在稼働中の各パソコンネットワークを見てみると、直接仕事に結びつくようなサービスはあまり見当たりません。無理して言えば、営業マンとか雑誌の編集者が自社の商品をそれとなく勧めたり、執筆者を探したりなんてことはできそうですが、あんまりこれをやると総スカンをくってしまいそうです。

一方、電子メールやチャットなどの機能を持ったパソコン通信のネットワークではありませんが、データベースとしてなら仕事に使えるようなものは多くあります。最後のページで紹介してあるようなデータベースがそのようなのですが、個人として利用すると利用料が結構高いものになります。といっても書籍の新刊情報や特許情報、株式情報、企業の経営情報など、企業やその部門が使用するなら、人件費や時間などが節約できることになるわけです。

データベースの例として、日本電気

が行っているC&C-VANの内容を紹介してみましょう。表1がその内容と1分当たりの接続料金です。朝日新聞や読売新聞の1分60円といった金額でも、よく考えてみると新聞の1部の値段とそう変わりません。

もちろん、検索機能があり、自分の探しているテーマ（キーワードや日付などで検索する）に沿った記事がどれだけあるかなどがすぐにわかり、また2つ以上のキーワードの論理演算による検索（パソコンと雑誌のキーワードを持つもののうち、MSXを取り上げたもの、など）ができるなど、自分で調べては何日もかかる作業が数十秒でできてしまうのです。単なる遊びで検索するなら60-400円はとても高い金額ですが、それを仕事に使うのならとても安く便利なサービスということになります。

表2に、主要な国内データベース名と問い合わせ先をまとめておきます。



表1 C&C-VANのサービスと料金

サービス名	接続1分あたりの料金
朝日新聞記事情報サービス	60円
読売新聞記事情報サービス	60円
帝国データバンク企業情報サービス	400円
日本能率協会マーケティング情報サービス	200円
日刊工業新聞新製品情報サービス	240円
ジャトロ・エース(経済貿易情報)サービス	240円
朝日新聞夕刊オンラインサービス	120円

6月1日現在のサービス内容と料金です。その他、C&C-VAN加入時に1万円が必要です。

表2 利用できる主要なオンラインデータベース

名称と内容	問い合わせ先	
C&C-VAN 表1に挙げた検索・表示サービス	日本電気	03-454-6909
DIALOG(アメリカ) 世界有数のデータベース、 取り扱う分野は広い	丸善MASISセンター	03-271-6068
DIALINE(三菱総合研究所) 国会図書館誌情報、 米商務省科学技術情報など	丸善MASISセンター	03-271-6068
PATORIS(特許情報) 国内外の特許情報の照会、 検索サービスなど	(財)日本特許情報機構	03-503-6181
NICHIGAI ASSIST 人物情報、新技術情報、新聞・ 雑誌情報、マーケティング情報、 図書内容情報など	日外アソシエーツ ㈱紀伊國屋書店	03-763-5241 03-439-0213

その他にも多くのサービスがありますが、端末になるパソコンの機種が限られていたり、個人にはサービスしていないものもあります。

ネットワーカー！ハブマン

これまでのページでいろいろな質問にお答えしました。とにかく通信するための機材がそろったら、パソコンネットに加入して、使ってみるのが一番です。パソコンネットは手段ですから、何をやるか、何ができるかはあなた次第なのです。

さて、最後に現在のパソコンネットを取り巻く状況と情報サービス（データベース）についてまとめてみました。どのようにパソコン通信を利用するかを考える上で、参考になるでしょう（編）。

竹山正寿

相次ぐネットワークの有料化で、草の根ネットワーク以外に無料のネットは存在しなくなった。ユーザーサイドから見れば、同じサービスなら安い方がよいのは当然。有料化するなら、サービスの充実をのぞみたい。

大半のネットではメニューこそ増えているが、必要な情報や有用な情報はまだまだ少ない。数少ない有益な情報は、ネットの運営側が提供したものより、ユーザーがブレイクボードなどに書いたアングラ的なものがほとんどだ。もちろんユーザーが勝手に書いたものだから、質の高いものから低いものまでごちゃ混ぜだし、中にはガセまでまざっている。情報サービスとして見ると、少々おそまつなのだ。そして、アクセス料として3分20円だの月額3,000円だの年6万だのといわれては、やはり心中おだやかではなくなってきたりする。また忘れてならないのは電話

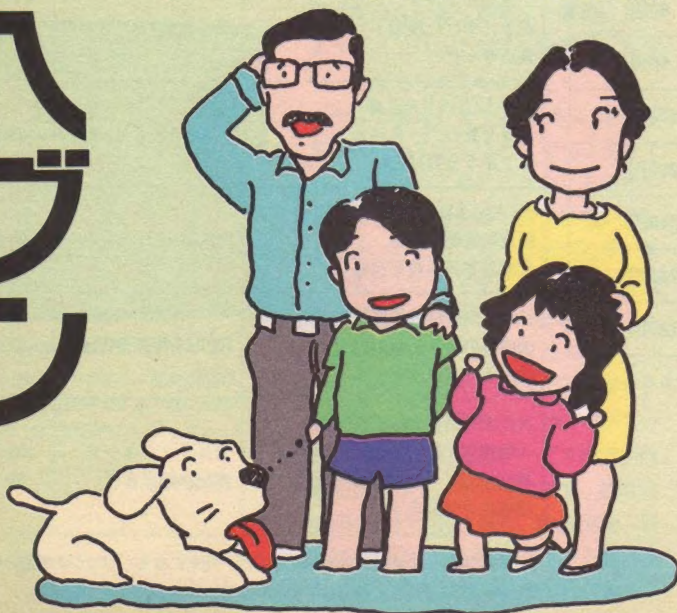
料金。新聞は月25,000～3,000円、テレビはタダ、雑誌は100～1,800円くらいで、あれだけの情報量を提供してくれる。ネットは、情報源として捉えると、とても高いものという感否めないのだ。ネットを運営している側からいえば、設備投資や人件費、営業費などのネットを維持するためのお金がかかるので、これくらいはユーザーに負担してもらわないとやっていけないのかもしれない。某ネットでは、それでも赤字という話はある。

とはいっても、パソコンネットに加入する人すべてが情報サービスを求めているわけではないだろう。チャットやブレイクボードなどで、見知らぬ人と、しかも直接話したり意見を交換できるというメディアは他にはないはずだ。新聞や雑誌の投書欄などと違って、自分が送ったメッセージはよほどの問題がないかぎりそのままボードに掲載される。もちろんこれが質の低下を招く元凶でもあるわけだが……。

で、データベースは役に立つ

というわけで三洋証券のパスポートや大和証券の株式情報関連のネットなどは、必要な人には情報源として、早く正確で安い（三洋は取り引き年額が300万円以上なら無料）のように限られた範囲内の情報だけをしっかり押さえ、提供するプロユースのネットワークが増えることは大歓迎である。

また、オンラインデータベースといって、情報検索専門のネットワークサービスもある。昔は専用のハードウェアが必要だったが、パソコン通信の普及で手持ちのモデムとパソコンでも利用可能になってきている。こちらは



パソコンネットと比較するとかなり高いが、内容は充実している。オンラインデータベースの中で個人でも利用できるきそうなのは、丸善のやっているMARU-NET、日外アソシエーツの日外アシスト、験本電気のC&C-VANといったところ。

DIALOGにアクセス

まず丸善のMARU-NETでは、複数のオンラインデータベースを提供している。アメリカ最大のDIALOG（新聞・人名・本・論文・特許・研究開発など）や三菱総合研究所の提供するDAILINE（図書館情報、日経新聞ファイルなど）、出版流通業者である東販・日販が行っているNOCS/TONETS（書名・著者名・出版社名で本を検索できるうえ、オンラインで注文もできる。本は宅配便もしくは近くの書店に届く）などのサービスを行っている。料金の方はサービスごとにまちまちで、DAILINE（最低固定料金5,000円/月）以外は使用した時間に応じて料金を取られる。ただし入会金などはなし。だいたいNOCS/TONETが1分260円、DIALOGの方は複雑で、ネットの利用料金の他にも国際電話料金、VENUS-P利用料金がかかるため、1件あたりの検索を行うと4,000～1万円はかかるといった方がいいだろう。

日外アシストの方は、人名、企業情報、新聞記事、本、経営・ビジネス情報などのデータベースがあり、会費は年12,000円と利用料200円/分と比較的リーズナブル。

C&C-VANの方は、新聞、企業情報、経済・マーケティングなどの情報が中心で、加入時1万円と利用額60～400円/分となっている。

仕事専用の情報サービス

いくらでも払うから最新の情報がほしいという人には、共同通信のK-IIアクロスという経済速報もある。全世界から集められたニュースソースが新聞社やテレビ局と同じ条件で届くというものだ。ただし、料金は月額10万円



だが、実はこの手のサービスの中ではもっとも安いもの。

さらにいくらでも払うから信頼性の高い情報がほしいという人には、帝国データバンクのCOSMOSや日経のNEEDSなんていうものもある。料金の方は複雑で一概にはいえないが、月額10万円からといったところ。

きわめつけの不精者にお勧めのサービスとして、三和銀行のSANLINEがある（本当は企業向けのサービス）。銀行の振り込み・振り替え、照会、取り引き通知などのCD（キャッシュディスク）の機能を自宅で利用できる。もちろん自宅のパソコンからお金が出てくるわけではないので、引き出しや預金はできないが、証券や外国為替相

場などのデータサービスなども利用できる。こちらは月額30円で、さらに2400bpsのJCAもしくは全銀協手順のモデムが必要。

ビジネス関係のネットだけでなくリットーミュージックが始めた音楽専門のPAN-NETなんていうものもある。ネットが必要な人に必要な情報を提供できる小回りのきくメディアに成長することを期待したい。

最後に、もしもネットワークがコミュニケーションの一種だとしたら、利用者の大半はコンピュータに興味のない人かもしれないのだから、システムの使いやすさはもちろん、サービス内容や情報量が充実してほしいと思っている。

今月 はパソコン通信にまつわるいろいろな質問に回答してみた。迷っていた人も、絶対に始めるんだと心に決めていた人も、いろいろと見えてきたんじゃないかな。もちろん、ここですべての疑問を回答することはできなかったはずだけど、掲載された基本的な内容がわかっただけ、あとは通信するだけだ。

実際に通信してみれば、思ったより簡単ということがわかるだろう。技術的な問題でわからないことがあったら、ネット上で通信の先輩たちに聞いてみれば快く教えてくれるはず。そして、最初はおっかなびっくりの通信のマナーも、一般社会と同じということがわかるだろう。

さあ、通信を始めよう!

MSXマガジン10月号特別付録 パソコン通信Q&A

表紙/本文デザイン: スタジオB4

コラム: 竹山正寿 イラスト: 秋山雫 製作: MSXマガジン編集部

パソコン通信Q&A

★パソコン通信って何だろう？

★電子メールって便利？

★パソコン通信に必要なもの

★通信パラメータの設定

★チャットで楽しむ方法

★電話代を節約する法

★絵やマシン語を送るためには

★実用的なパソコン通信

